

日本生涯教育学会

第32回大会プログラム

The Japan Association of Lifelong Education

2011. 11. 5 (土)

11. 6 (日)

会場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

大会参加要領

1. 受付
(1階ロビー) 1日目 11月5日(土) 11時30分より
2日目 11月6日(日) 9時00分より
2. 大会参加費 受付で大会参加費をお納め下さい。
会員 2,500円、学生会員 500円(要学生証等身分証明書提示)
臨時会員、一般 2,500円、学生 1,000円(要学生証等身分証明書提示)
情報交換・懇親会費(出席者) 3,000円
3. 学会費 正会員は受付で学会費の納入を受付けます。学会費 8,000円
4. 発表要領 自由研究部会
(個人発表) 発表 20分、質疑 5分
(共同発表) 発表 15分×発表者数、質疑 5分(但し 60分以内)
生涯学習実践事例研究部会
(個人発表) 発表 20分、質疑 5分
(共同発表) 発表 15分×発表者数、質疑 5分(但し 60分以内)
生涯学習政策研究フォーラム
司会・コーディネーターの指示に従って下さい。
5. 欠席の場合
(発表者) 発表者が止むを得ない事情によって、万一欠席される場合は、大会前日までに学会事務局までご連絡下さい。(発表の取り消しがあった場合でも、プログラムの発表順を繰り上げることはありません)
6. 大会連絡先 学会事務局(TEL: 03-3555-5671)
※大会当日の緊急連絡は、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
(TEL: 03-3823-0241)までご連絡下さい。
7. 大会本部・休憩所 本部: 2階 第2講師室 休憩所: 1階 ロビー、3階 ロビー
8. 研究発表等会場 (自由研究部会) 3階 第1セミナー室、第2セミナー室、講堂
2階 実習室
(展示発表) 3階 ロビー
(生涯学習実践事例研究部会) 3階 講堂、2階 実習室
(生涯学習政策研究フォーラム) 3階 講堂
(資料交換コーナー) 3階 ロビー
9. 生涯学習政策研究フォーラムについて
文部科学省「全国生涯学習ネットワークフォーラム(まなびピア東京2011)」に参加する予定です。
一般公開フォーラムとなりますので、非会員の方は無料で参加することができます(フォーラム以外の研究大会への参加は臨時会員の扱いとなります)。
10. 情報交換・懇親会会場 東京芸術大学大浦食堂(東京芸術大学大学美術館奥)

会場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-43 TEL 03-3823-0241

主催 日本生涯教育学会

(事務局) 〒104-0033 東京都中央区新川 1-28-4-1101 TEL/FAX 03-3555-5671

大会日程

	午前	午後				
1日目 11月5日 (土)		評議員会 11:30~ 12:20	全国理事会 ・年報編集委員会 12:25~ 13:25	開 会 式	研究発表 自由研究部会 14:00~17:40	情報交換 ・懇親会 18:00~19:30
	13:35~13:55 【受付 11:30~】					
2日目 11月6日 (日)	総 会	研究発表 実践事例 研究部会 10:00~ 12:25	会長賞選考/ フォーラム 打合せ 12:30 ~13:30	会 長 賞 表 彰 式	生涯学習政策研究 フォーラム 13:50~16:20	閉 会 式
	9:20~9:50 【受付 9:00~】		資料交換コーナー 11:30~13:30	13:35~13:45		16:20~16:30

1日目 11月5日 (土)

受付	11:30~	1階 ロビー
評議員会	11:30~12:20	2階 会議室
全国理事会・年報編集委員会	12:25~13:25	2階 会議室
開会式	13:35~13:55	3階 講堂
あいさつ 会 長 葉袋 秀樹 (筑波大学)		
特別顧問 銭谷 眞美 (東京国立博物館)		
研究発表 (自由研究部会)	14:00~17:40	
情報交換・懇親会	18:00~19:30	東京芸術大学大浦食堂

自由研究部会 I 3階 第1セミナー室

司会 佐久間 章 (札幌国際大学)
田井 優子 (八洲学園大学)

時間	コード	発表題目	発表者
14:00 -14:25	II-11	大学の生涯学習支援に対する、地域住民の考え方に影響を与える要因	○桑村 佐和子 (石川県立大学) 金子 劭榮 (石川県立大学名誉教授)
14:25 -14:50	III-33	世代間交流による生涯学習—大学教養教育における対話型学習—	○大橋 眞 (徳島大学) 中恵 真理子 (徳島大学) 光永 雅子 (徳島大学) 斉藤 隆仁 (徳島大学)
14:50 -15:15	II-4	ハイパートレールが知識の構成に及ぼす効果に関する研究	吉田 広毅 (常葉学園大学)
15:15 -15:50	III-33	社会人対象英語eラーニング講座における good learners—ケーススタディー	○青木 信之 (広島市立大学) ○渡辺 智恵 (広島市立大学)
15:50 -16:05		休憩	
16:05 -17:05	III-33	高等教育における生涯学習力を形成する『参画学習』支援システム —eラーニング指向の web パッケージの開発と実践—	○林 義樹 (日本教育大学院大学) ○石倉 義之 (日本教育大学院大学 院生) ○品田 卓磨 (日本教育大学院大学 院生) ○浅羽 謙 (日本教育大学院大学 院生)
17:05 -17:15		討議	

自由研究部会Ⅱ 3階 第2セミナー室

司会 坂井 知志 (常磐大学)
荒井 博文 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

時間	コード	題目	発表者氏名(所属)
14:00 -14:25	Ⅲ-22	学校心理臨床における支援システムの在り方に関する研究	山本 健治 (関西学院大学)
14:25 -14:50	Ⅲ-26	近江兄弟社の基督教通信学会—日本的通信教育の系譜に属さない通信教育の一事例—	鈴木 克夫 (桜美林大学)
14:50 -15:15	Ⅱ-11	秋田県大潟村における市民活動と生涯学習	薄井 伯征 (大潟村干拓博物館)
15:15 -15:40	Ⅱ-6	日本図書館協会に関する議論の歴史	春田 和男 (東京家政大学)
15:40 -16:05		休憩	
16:05 -16:30	Ⅱ-6	日本図書館協会の図書館学教育科目案(1972年) —館種別図書館職員養成の観点から—	山内 美千絵 (昭和女子大学短期大学部／筑波大学大学院生)
16:30 -16:55	Ⅲ-22	文部省の学校図書館利用授業の手引書・指導書-1950年代～1970年代初め-	西巻 悦子 (元東京都立高等学校教諭／筑波大学大学院生)
16:55 -17:05		討議	

自由研究部会Ⅲ

3階 講堂

司会 白木 賢信 (東京家政大学)

弓削 暢彦 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

時間	コード	題目	発表者氏名(所属)
14:00 -14:25	Ⅲ-21	家庭教育に関する意識と親性準備性の関係	大西 麗衣子 (尚美学園大学)
14:25 -14:50	Ⅲ-32	地域社会における青少年育成に関する一考察～中・高生 による地域ボランティア活動の参加を通して～	藤原 靖浩 (関西学院大学大学院生)
14:50 -15:15	Ⅲ-32	地域における読書推進活動	有元 よしの (筑波大学大学院生)
15:15 -15:40	Ⅲ-32	組織キャンプにおける仲間づくりの特徴	東 雅宏 (白山市教育委員会)
15:40 -16:05		休憩	
16:05 -16:30	Ⅲ-33	日本的経営とキャリアデザイン	安部 耕作 (京都船岡塾研究員)
16:30 -17:05	Ⅲ-33	介護を学ぶ社会人の介護意識に関する一考察 ～ハローワークルートで介護福祉士養成に参加する社会 人の意識調査から～	○青柳 育子 (仙台白百合女子大学) ○佐野 雪江 (江戸川大学総合福祉専門学校)
17:05 -17:30	Ⅲ-32	朝の読書の実施状況ーその変遷	葉袋 秀樹 (筑波大学)
17:30 -17:40		討議	

自由研究部会Ⅳ

2階 実習室

司会 梶井 祥子（北海道武蔵女子短期大学）
大庭 一郎（筑波大学）

時間	コード	題目	発表者氏名(所属)
14:00 -14:25	Ⅱ-6	調布市立図書館における管理委託の検討(1993～1994)	松田 典之（練馬区立図書館／筑波大学大学院生）
14:25 -14:50	Ⅱ-6	公共図書館における図書館改革の取り組みの現状	○佐藤 容子（筑波大学大学院生） 藁袋 秀樹（筑波大学）
14:50 -15:15	Ⅱ-8	生涯学習支援におけるコーディネートの特性に関する検討	松橋 義樹（女子美術大学(非)）
15:15 -15:40	Ⅱ-1	地方自治体における生涯学習関連フォーラムの行方ー嚶鳴フォーラムの事例からー	横山 幸司 （岐阜県庁／現大野町派遣）
15:40 -16:05		休憩	
16:05 -16:30	Ⅱ-3	社会教育行政の「埋没」状況に関する一考察	稲葉 隆（東京都教育庁）
16:30 -17:05	Ⅱ-11	「家庭・学校・地域の連携協力推進事業」の現状と課題ー地域社会ですすめる教育改善の視点からー	○熊谷 愼之輔（岡山大学大学院） ○志々田 まなみ（広島経済大学） 佐々木 保孝（天理大学）
17:05 -17:30	Ⅲ-5	スウェーデンにおける地域を基盤とする生涯学習振興に関する研究：地域のニーズに即応する学習センターの実践	澤野 由紀子（聖心女子大学）
17:30 -17:40		討議	

展示発表 3階 ロビー 14:00-17:40 ※説明・質疑時間 15:40-16:05

コード	題目	発表者氏名(所属)
III-3	看護専門職者の男性と女性におけるアンドロジニーな生き方の構造	○石原 留美 (香川県立保健医療大学大学院生) 松村 恵子 (香川県立保健医療大学大学院)
III-32	小学校における学校支援ボランティアに関する意識調査	木村 祐介 (常総市立大生小学校)
IV-4	大学生の地域社会への態度と形成要因	宮地 孝宜 (日本女子大学)

情報交換・懇親会 18:00~19:30 東京芸術大学大浦食堂

司会	神部 純一 (滋賀大学) 阪本 陽子 (東京都台東区教育委員会)
副会長あいさつ	井上 講四 (琉球大学)
あいさつ	服部 英二 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

2日目 11月6日(日)

受付	9:00～	1階 ロビー
総会	9:20～ 9:50	3階 講堂
研究発表 生涯学習実践事例研究部会	10:00～12:25	3階 講堂
資料交換コーナー	11:30～13:30	3階 ロビー
会長賞表彰式	13:35～13:45	3階 講堂
司会	仲野 寛 (島根大学)	
生涯学習政策研究フォーラム	13:50～16:20	3階 講堂
閉会式	16:20～16:30	3階 講堂
副会長あいさつ	渋谷 英章 (東京学芸大学)	

生涯学習実践事例研究部会

3階 講堂

司会 工藤 朝博 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)
薄井 伯征 (大潟村干拓博物館)

時間	コード	題目	発表者氏名(所属)
10:00 -10:25	V-1	現代教育の多様化における生涯学習の可能性についてー韓国の代案学校の取り組みを通してー	畔柳 和枝 (愛知淑徳大学 (非))
10:25 -10:50	V-1	社会人の学び場としての「ホイスコーレ札幌」	生越 玲子 (ホイスコーレ札幌)
10:50 -11:15	II-3	市職員の公立図書館に関する意識ーアンケート調査の結果からー	齊藤 誠一 (千葉経済大学短期大学部)
11:15 -11:40	V-1	初年次キャリア教育の授業で実施する「地域と共生する大学づくりのための熟議」	宮崎 冴子 (三重大学)
11:40 -12:15	II-1	連携・協働のプラットフォームを構想する広島県立生涯学習センターの研修事業の試み	○清國 祐二 (香川大学・せとうちネットワーク) 葛原 生子 (広島県立生涯学習センター) 志々田 まなみ (広島経済大学・せとうちネットワーク) ○新田 憲章 (広島県立生涯学習センター) 山川 肖美 (広島修道大学・せとうちネットワーク)
12:15 -12:25		討議	

生涯学習推進に対する社会の要請にいかに応えるか
ーコミュニティの再定義と個人の自立ー

登壇者

社会教育行政の観点から

三浦 春政 (東京芸術大学 理事・事務局長・副学長)

地域教育経営の観点から

井上 講四 (琉球大学教育学部教授)

コミュニティ行政の観点から

横山 幸司 (岐阜県大野町総務部参事兼企画財政課長・岐阜県庁から出向)

コミュニティ再建の観点から

熊谷 慎一郎 (宮城県図書館企画管理部 企画協力班 主事)

司会・コーディネーター

山本 和人 (東京家政大学)

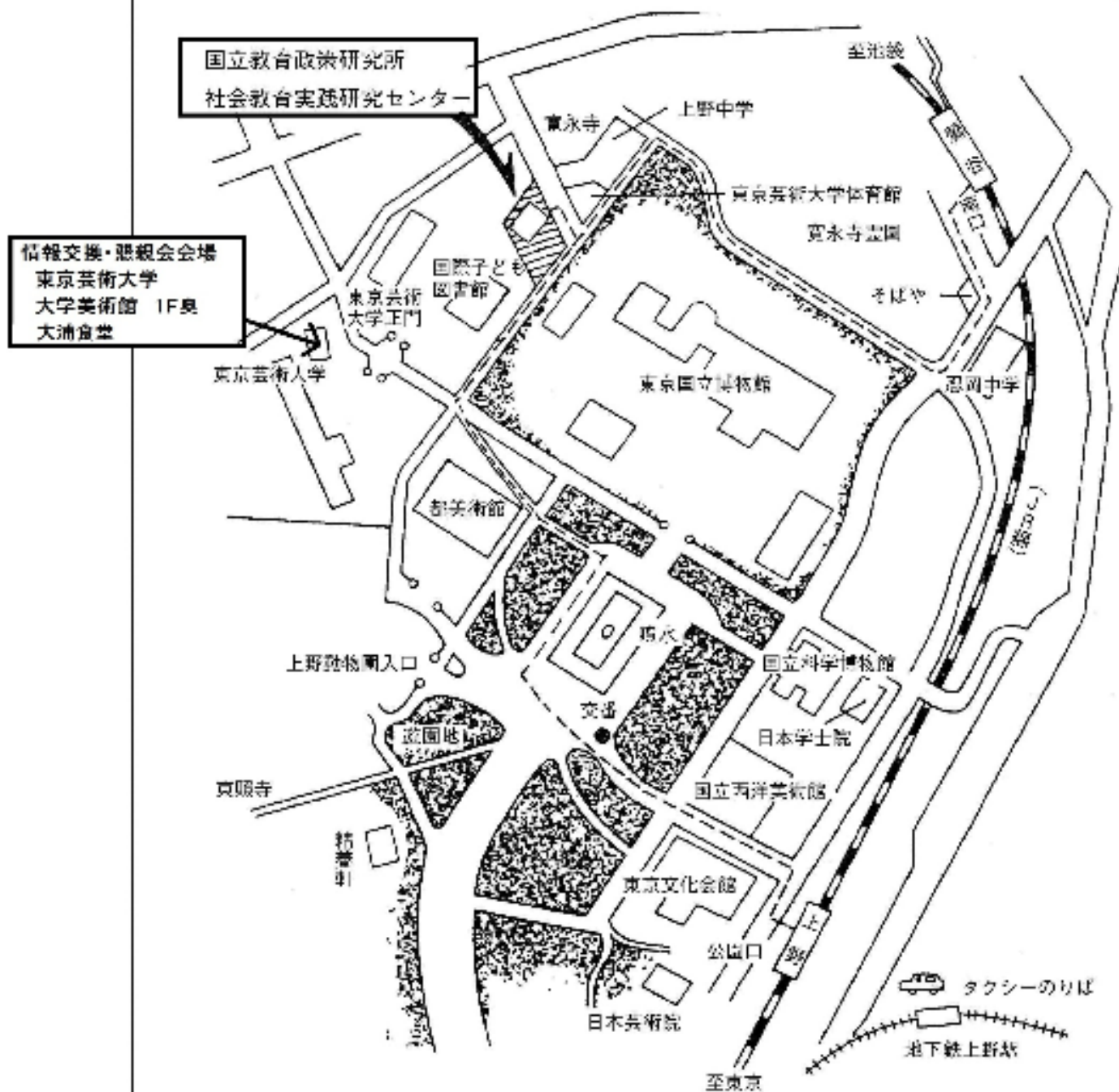
伊藤 真木子 (国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

研究領域・研究分野コード一覧表

[研究領域]	[研究分野]
I. 生涯学習研究	1. 生涯学習理論 2. 生涯学習研究方法論 3. 生涯学習史 4. 生涯発達論 5. 生涯学習内容・方法論
II. 生涯学習支援研究	1. 生涯学習振興・推進論 2. 生涯学習支援システム論 3. 生涯学習行財政論 4. 学習情報論 5. 学習相談論 6. 生涯学習関連施設論 7. 学習機会提供論 8. 生涯学習人材論 9. 生涯学習評価論 10. 学習成果活用論 11. その他の生涯学習支援研究
III. 生涯教育研究	1. 生涯教育理論 2. 生涯教育領域論 2 1. 家庭教育論 2 2. 学校教育論 2 3. 社会教育論 2 4. 生涯スポーツ・社会体育論 2 5. 企業教育論 2 6. 遠隔教育論・放送教育論・通信教育論 3. 生涯各期の教育・学習論 3 1. 乳幼児教育・学習論 3 2. 青少年教育・学習論 3 3. 成人教育・学習論 3 4. 高齢者教育・学習論 4. 女性の生涯教育・学習論 5. 各国の生涯教育・生涯学習
IV. 総合・複合研究	1. 総合・複合研究 2. 生涯学習社会論 3. マスコミ文化論 4. 現代的課題研究
V. 実践事例研究	1. 実践事例研究

- (1) 各研究発表に付されているコードは、上記の表によるものです。
- (2) コードは発表申込者の申請によるものです。ただし記入のないものは委員会の判断でコードを付し、また2つ以上記入のあるものは主なもの1つのみを付してあります。
- (3) 所属は原則として発表申込者の申請によるものです。

第32回大会 会場案内図



所在地：〒110-0007 東京都台東区上野公園12番43号

電話：03-3823-0241

- ※ 1 JR線上野駅（公園口）下車 徒歩15分
- 2 JR線鶯谷駅（南口）下車 徒歩10分
- 3 …… は当所までの順路を示す